

会員向け勉強会に参加して

福島育成園支部 山口 チトセ

10月の会員向け勉強会では、「子どもが高齢化していくことを親はどのようにとらえるか?」と題して大阪市更生療育センター次長の村江 昇 様をお迎えして行われました。

子どもの加齢を親はいつ頃から見えたのか?見られたのか?ということで、次の5つのテーマについてグループに分かれて自由討論と発表をしました。

1. 加齢について思い当たること

30代半ばから40代半ばにかけ、顔にシミが出来たり、白髪が出てきたりしたというご意見がありました。

2. 加齢に伴う身体・精神的な変化について

外見を気にしない、同じ服を着続ける、こだわりが弱くなった、外出をしなくなった、引きこもるようになった等の意欲の低下、頑固になり人の言うことを聞かないといったご意見がありました。

3. 生活面での変化について

足腰が弱くなった、噛む力が弱くなった、体力が落ちた、肥満化する、白内障を患う、皮膚の乾燥、頻尿等、身体機能の低下や身辺自立度の低下に関するご意見がありました。しかし、耳が遠くなった事についてのご意見はありませんでした。

4. 日中活動の場での変化について

足腰が弱くなったことから力仕事を嫌がる、同じ事や動作の繰り返しから集中力がなくなり長続きしない等のご意見がありました。

5. 支援に最も必要と思われることについて

医療と介護の連携、居宅介護等のヘルパー制度を活用して自宅で子どもを生活させたい、高齢知的障がい者対応の事業所や特養が欲しいといった具体的な親の願いの声がありました。

各グループの発表を聞かれた後、村江氏からは体の健康と心の健康が大事と言われ、また、高齢障がい者対応の事業所等についてもニーズが高いと言われていました。

今回のお話を聞きながら、福島育成園で長谷施設長が以前にお話しされていたことが頭をよぎりました。それは、知的障がい者の老化は50歳頃から顕著になり、認知症も伴うとも言われ、物忘れや認知症を見られるようになります。生活支援の場面では、入浴支援と排泄支援に力点が置かれるようになるというこ

とです。特に後者については、尿失禁や尿漏れといった症状に現れるということです。また、食事に関する面では、心身機能の低下から誤嚥を起こしやすくなる事から、見守りが重要になってきます。これらのように知的障がい者が高齢になれば、機能低下が顕著になることから個別性が高い支援が必要になるということです。

勉強会の終わりに村江氏から、その人がその人らしく生活を送れたのか?健康で豊かに制度を活用して人間の基本的欲求をそのまま受け入れ、安全、安心、安定の欲求を共感しあえる仲間が必要です。人が生きていくために一番必要な事は、大切なものを探して言葉にして創っていく事ではないでしょうか?人は一人では生きていけませんから、皆さんは育成会と繋がっててください。との言葉で結ばれました

アジアパラ大会で津川さんが銅メダルを獲得

10月18日(土)から24日(金)まで韓国の仁川(インチョン)で行われたアジアパラ大会で、水泳競技に東成育成園の津川拓也さんが、200m個人メドレーと100m背泳ぎの2種目に出場され、100m背泳ぎの決勝では、1分5秒43で3位となり銅メダルを獲得されました。

おめでとうございます。

大阪市育成会会員日より

《レクリエーション(本人活動支援)について》 クリスマスコンサート

- ・日 時: 12月23日(祝)
10:30~12:00
- ・場 所: クレオ大阪中央 セミナーホール
- ・定 員: 70名
- ・参加費: 500円(付添いの方も500円)
- ・申込締切: 12月5日(金)(定員になり次第締切)

《勉強会のお知らせ》

- ・日 時: 12月25日(木) 10:00~12:00
- ・場 所: 社会福祉センター 301会議室
- ・テーマ: 「合理的配慮に基づいた支援 パートⅡ」
- ・講 師: 社会福祉法人 北摂杉の子会
常務理事 松上 利男 氏

《12月部会等日程案内》

部会名	日 時	会議室
支部連絡会	12月25日(木) 13:00	301